

## 2026年8月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月14日

上場会社名 株式会社エンゼルグループ 上場取引所 東  
 コード番号 5534 URL <https://www.angel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新保 光栄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 安藤 敏幸 TEL 03 (6256) 0155  
 中間発行情報提出予定日 2026年5月29日 配当支払開始予定日 -  
 中間決算補足説明資料作成の有無：無  
 中間決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年8月期中間期の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	5,681	7.9	467	△23.4	458	△24.4	3,178	644.7
2025年8月期中間期	5,266	17.4	610	529.4	606	505.5	426	830.1

(注) 中間包括利益 2026年8月期中間期 3,178百万円 (644.7%) 2025年8月期中間期 426百万円 (830.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	819.20	—
2025年8月期中間期	106.71	—

(注) 2025年8月期中間期及び2026年8月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有しないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	26,737	19,826	74.0
2025年8月期	24,002	16,632	69.2

(参考) 自己資本 2026年8月期中間期 19,783百万円 2025年8月期 16,609百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	0.00	1.00	1.00
2026年8月期	0.00		
2026年8月期（予想）		—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,936	14.9	556	△4.9	575	0.2	3,094	△12.3	797.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細については、添付資料「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年8月期中間期	4,440,000株	2025年8月期	4,440,000株
② 期末自己株式数	2026年8月期中間期	560,000株	2025年8月期	560,000株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年8月期中間期	3,880,000株	2025年8月期中間期	3,999,500株

※ 中間期決算短信は公認会計士又は監査法人の中間レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で資源価格の高騰、物価上昇や円安の進行、米国とイスラエルによるイラン攻撃による影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

リゾートを取り巻く環境としましては、インバウンド需要等により活気を取り戻しつつありましたが、中国政府による中国国民に対する日本への渡航自粛要請など、インバウンド需要への影響が懸念され、先行き不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、宿泊部門はインバウンド需要の影響が限定的であり、堅調に推移いたしました。新規オープンとして、『エンゼルフォレスト熱海自然郷』の一角に『エンゼルフォレスト熱海』としてヴィラ14棟、「エンゼルフォレスト那須」は2つのタイプのコテージを9棟、『エンゼルフォレスト白河高原』は新たな取り組みとしてガゼボを完備した連棟タイプ含めた全9室をオープンしております。

管理部門では、マンション管理で業務の内製化や外注化、RPAの利用など、業務に応じて最も効率化が図れる方法を模索しつつ新規管理物件の獲得に努め、管理棟数を2棟新規受託しております。別荘地管理では、2025年10月に事業譲受により管理別荘地を増やしております。この事業譲受により、負ののれん発生益2,911,076千円を計上しております。

不動産部門では、引き続き積極的に社有物件からの販売を進めております。また、新たに那須地域での投資用物件の販売を開始いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は5,681,455千円（前年同期比7.9%増）、営業利益は467,349千円（前年同期比23.4%減）、経常利益は458,793千円（前年同期比24.4%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は3,178,500千円（前年同期比644.7%増）となりました。

なお、当社グループはリゾート事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は26,737,086千円となり、前連結会計年度末に比べ2,734,346千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1,030,106千円及び販売用不動産の増加1,683,153千円によるものであります。

#### (負債)

当中間連結会計年度末における負債合計は6,910,971千円となり、前連結会計年度末に比べ459,604千円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他の減少395,604千円及び社債の減少77,200千円によるものであります。

#### (純資産)

当中間連結会計年度末における純資産合計は19,826,115千円となり、前連結会計年度末に比べ3,193,950千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益3,178,500千円による利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,413,586	16,443,692
受取手形及び売掛金	745,230	830,733
販売用不動産	1,940,051	3,623,204
商品及び製品	117,524	109,002
未成工事支出金	123,027	205,262
原材料及び貯蔵品	33,273	45,769
その他	1,117,981	614,109
貸倒引当金	△48,352	△60,993
流動資産合計	19,442,322	21,810,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,803,049	2,918,543
その他	1,319,603	1,562,822
有形固定資産合計	4,122,652	4,481,365
無形固定資産		
のれん	15,910	13,690
その他	34,671	32,511
無形固定資産合計	50,581	46,201
投資その他の資産		
その他	400,909	412,283
貸倒引当金	△13,723	△13,543
投資その他の資産合計	387,185	398,739
固定資産合計	4,560,418	4,926,305
資産合計	24,002,740	26,737,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	159,935	123,243
工事未払金	44,320	35,040
短期借入金	—	100,000
1年内償還予定の社債	126,400	140,400
1年内返済予定の長期借入金	426,686	398,382
未払法人税等	248,926	220,690
賞与引当金	91,090	105,704
その他	1,596,762	1,201,157
流動負債合計	2,694,121	2,324,619
固定負債		
社債	192,000	114,800
長期借入金	2,224,660	2,186,295
退職給付に係る負債	7,879	7,671
資産除去債務	73,753	74,071
企業結合に係る特定勘定	684,899	734,435
その他	1,493,263	1,469,078
固定負債合計	4,676,455	4,586,351
負債合計	7,370,576	6,910,971
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	7,362	7,362
利益剰余金	16,977,831	20,152,452
自己株式	△475,880	△475,880
株主資本合計	16,609,314	19,783,934
新株予約権	22,850	42,180
純資産合計	16,632,164	19,826,115
負債純資産合計	24,002,740	26,737,086

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	5,266,246	5,681,455
売上原価	1,209,070	1,428,226
売上総利益	4,057,175	4,253,228
販売費及び一般管理費	3,446,866	3,785,878
営業利益	610,309	467,349
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	1,612	15,100
受取保険料	1,790	7,511
土地使用料	5,466	6,917
その他	5,831	5,575
営業外収益合計	14,700	35,104
営業外費用		
支払利息	15,671	18,461
貸倒引当金繰入額	—	22,748
その他	2,697	2,451
営業外費用合計	18,369	43,661
経常利益	606,641	458,793
特別利益		
負ののれん発生益	—	2,911,076
新株予約権戻入益	18,637	—
収用補償金	10,678	—
その他	10,002	2
特別利益合計	39,317	2,911,078
特別損失		
減損損失	2,093	—
固定資産除却損	4,252	3,670
その他	—	96
特別損失合計	6,346	3,767
税金等調整前中間純利益	639,612	3,366,104
法人税等	212,814	187,604
中間純利益	426,797	3,178,500
親会社株主に帰属する中間純利益	426,797	3,178,500

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
中間純利益	426,797	3,178,500
中間包括利益 (内訳)	426,797	3,178,500
親会社株主に係る中間包括利益	426,797	3,178,500

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。